

# 本はわたしの日々の傍らに

## はるさんと1000本のさくら

ただのふこ／著 中央公論新社  
 常々都筑の緑道は後世に残していかなくてはと考えている私の気持ちを描いてくれている絵本。山深いが大勢の人が豊かで幸せに暮らしていた村人は今では10人になってしまった。「もっともっと先のことを考えよう」と桜の苗を1000本植えることにした。植え終った時、村には誰もいなかった。さて100年後の村は……  
 大橋明美 つづきっこ読書応援団



## 夢を食いつづけた男 おやし徹誠一代記

植木等／著 筑摩書房  
 植木等が父・徹誠を軸に描いた家族の年代記。義太夫語りのプロを目指し、洗礼を受けたクリスチャンから寺の住職へ。部落解放運動に身を投じ治安維持法で投獄されるなど、支離滅裂なようで筋の通ったおやじの人生を、当時を知る人たちへの取材で再発見します。読後、スーダラ節が違った響きで聞こえるようになりました。  
 木村直之 都筑図書館職員



## 空から

金澤翔子／書 金澤泰子／文 清流出版  
 金澤翔子さんの書の作品集。翔子さんはダウン症の書家。この本には翔子さんの作品が40点以上収録。金澤泰子さんは翔子さんのお母様。翔子さんは5歳で泰子さんに書を書き始めます。この本で泰子さんは、翔子さんの日常のことや、翔子さんの作品を生み出す無心さを書いています。私はこの本に感動して思わず涙です。  
 佐々木智子 つづきっこ読書応援団



## 27000冊ガーデン

大崎梢／著 双葉社  
 舞台は高校の学校図書館。周囲に起こる事件を学校司書と書店員が解き明かします。「県立高校が舞台だから！読んでみて」と高校生の子息に懇願して受けて取ってもらいました。この本からは本への愛と悩める若者へのメッセージが伝わります。果してそれがうちの高校生に伝わるのでしょうか？（これもある意味ミステリー?!）  
 小山亜紀子 都筑図書館職員



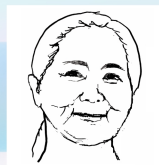
## わたしのひかり

モリー・バング／作 さくまゆみこ／訳 評論社  
 太陽の光(熱)が私達の住む地球のすべてのエネルギーの源になっている。便利な生活の中で、大切なことを今一度考えるきっかけをくれています。子どもたちにも、大人にも解りやすく、美しく書かれています。  
 福井つや子 つづきっこ読書応援団



## ぼくたちのいばしょ〜亀島小多国籍探偵クラブ

蒔田浩平／作 文研出版  
 ぼくと、秀則はクラスの新聞委員だ。ある時、ネパールからサラダという名の女の子が引っ越してきた。日本語が話せず、走るのも遅く、いじられるようになった。そんな時、担任の先生から新聞委員を一緒にと勧められて、……。自分の居場所を、どう作れば良いのかと悩む子供たちに一つのヒントになる本。  
 富成千絵 都筑図書館職員



## それってホントに子どものため？ —保育のお悩みに愛子先生流アドバイス

柴田愛子／著 チャイルド本社  
 「子どもをどう育てようか」ではなく「子どもがどう育とうとしているのか」を観る。子どもに寄り添う。どうして、こんなにも子どもの気持ちがわかるんでしょう。愛子さんの温かいまなざしに、親の肩の力も抜ける本です。  
 平田郁代 つづきっこ読書応援団



## 生まれかわりのポオ

森絵都／作 金の星社  
 ポオは背中にハートマークのある猫。ぼくはママとポオと、ずっと一緒に暮らしてきました。だけど、ポオは年をとって、亡くなってしまいます。落ち込むぼくに、ママが別の生き物に生まれ変わったポオの物語を作ってくれます。大切な家族の死を受け止めて、生きていくことについて優しく考えさせてくれる1冊です。  
 芳野佳乃子 都筑図書館職員



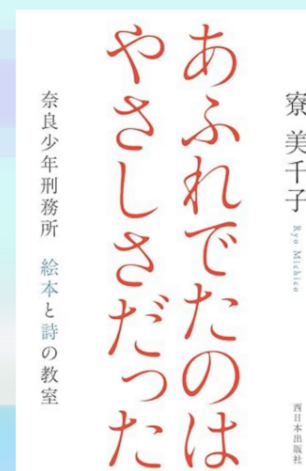
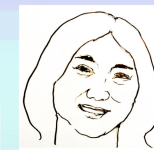
## はなちゃんの はやあるき はやあるき

宇部京子／作 菅野博子／絵 岩崎書店  
 東日本大震災、大きな津波も来しました。その時に全員助かった、奇跡の保育園があります。主人公のはなちゃんは、普段はのんびりやさん。でもある日から、早歩きを練習を始めます。そして津波が来た時、みんなで歩いて、歩いて、高台までにげることができました。緊迫感のあるとてもいい絵本です。読んでみてくださいね。  
 木村美枝子 つづきっこ読書応援団



## あふれでたのはやさしさだった 奈良少年刑務所 絵本と詩の教室

寮美千子／著 西日本出版  
 ひよんなことから少年刑務所の更生教育に関わるようになった作家の著者と受刑少年たちの成長の記録です。一度は罪を犯してしまった少年たちの胸の奥底に眠るみずみずしい感性とそれを受け止める著者の優しさに心洗われると同時に、本来の教育の意味を考えさせられる一冊です。気になった方はぜひ手に取ってみてください。  
 青木美幸 都筑図書館職員

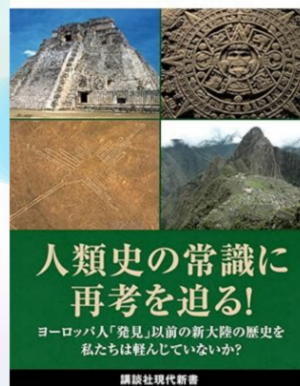


## おとうさんのちず

ユリ・シュルヴィッツ／作・絵 さくまゆみこ／訳 あすなろ書房  
 作者は、ポーランド生まれ。幼い頃ドイツ軍による侵攻で家を失い、故郷をおわれ、家族で旧ソ連、カザフスタン、パリ等転々とさまよう。寝る場所も食べ物も事欠く生活。パンを買いに行ったお父さんは、地図を買ってくる。母も作者も気落ちする。でも、地図を見て空想の世界で遊ぶことで、ひもじさも貧しさからも救われる。  
 馬場治美 つづきっこ読書応援団



## 古代アメリカ文明 マヤ・アステカ・ナスカ・インカの実像



## 古代アメリカ文明マヤ・アステカ・ナスカ・インカの実像

青山和夫／編 講談社  
 学校ではあまり習わない古代アメリカ文明について、最新の研究成果をもとに各地域・時代の研究者が解説した本です。生贄のイメージがあるけれど、どのような宗教・思想を持っていたのか、有名なナスカの地上絵は何のために作られたのか、スペインによる征服はどのようなものだったのか。新たに知る事が多くありました。  
 阿久津望 都筑図書館職員

